



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(5月22日時点)

米商品先物取引委員会(CFTC)が25日に発表した建玉報告によると、22日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)は前週の買越しから売越しに転じ、売越幅は2767枚。投機筋は売り買い共にポジションを増やし、売りポジションをより多く増やしていた。

期間中の円(対ドル)は軟調。米国と中国は17、18両日に貿易摩擦の回避に向けた協議を臨み、双方が知的財産権問題に絡んだ制裁措置を当面見送ることで合意したことで、円売りドル買いが進行。ただ、米朝首脳会談の方は6月12日の開催予定を前に、米国から北朝鮮の非核化にはリビア方式を用いるべきだとの発言があり、これを受けた北朝鮮から会談のキャンセルの可能性が示唆されたことでドルの上げ幅は限られた。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の買越幅は10万9744枚となり、前週比5370枚縮小。

トランプ米大統領がイラン核合意からの離脱と同国に対する経済制裁を復活させる方針を表明したことで、欧州企業のイラン事業に悪影響を及ぼすとの見方が強まったことや、イタリアで新政権の樹立を目指している欧州連合(EU)懐疑派政党がまとめたばらまき色の濃い政権協定が嫌気され、ユーロ安ドル高が進行した。

イタリアではポピュリスト政党の「五つ星運動」と反移民を掲げる「同盟」が連立政権樹立へ包括的な合意に達したことが伝わったが、経済分野の合意の中には加盟国にユーロ離脱を認める域内での手続き導入が提案されているほか、2500億ユーロの伊政府債務を帳消しするように欧州中央銀行(ECB)に要請する方針などが盛り込まれていたことで、一時戻したユーロも対ドルで売りが再燃した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
01/23	110.32	-122,870	1.2294	144,717
01/30	108.84	-114,696	1.2397	148,742
02/06	109.54	-112,876	1.2373	140,823
02/13	107.78	-115,509	1.2356	127,289
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
04/03	106.62	3,572	1.2268	134,381
04/10	107.19	2,761	1.2352	147,463
04/17	107.01	2,591	1.2373	151,476
04/24	108.81	583	1.2231	130,594
05/01	109.85	-1,405	1.1991	120,568
05/08	109.12	-5,462	1.1864	120,505
05/15	110.36	3,680	1.1837	115,114
05/22	110.91	-2,767	1.1777	109,744
前週比	0.55	-6,447	-0.0060	-5,370



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。